

ほけんだいよソフ月号

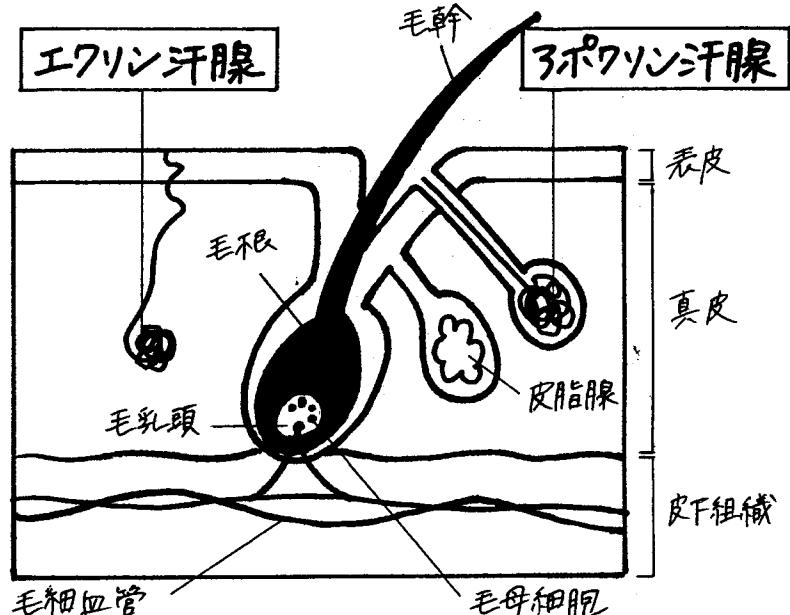
大田区立
石川台中学校
保健室R3.7.6

最近は雨の日が続いているのですが、梅雨が終ると(7月)は夏本番です。空の青空が(17, 18度)は涼しく、雲は白く力強さを増します。「暑いのは苦手」という人も夏のパワーに負けず、夏にしかできないことをチャレンジしてみてください。また、教室での冷房使用が始まっていますので、体を冷やすときは、汗をかいたらしっかりと拭きとけましょう。

汗について

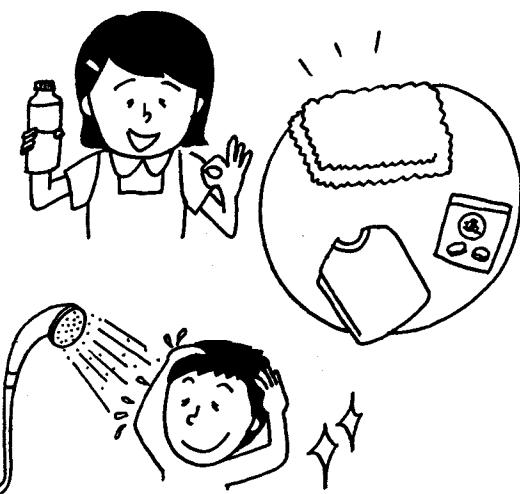
汗はどこから出ている？

私たちは1本(皮膚: 1本毛の周辺) (=右の図のよう) には、2つ、汗には「エクリン汗腺」「アポクリン汗腺」という2つの汗腺から分泌されます。



汗の重要な働き

暑さが厳しい日や激しい運動の後は、汗がたくさん出ますね。私たちは1本(=外気温の上昇や運動による熱を持つと、その熱を体外に逃がして体温を一定に保とうとする働きがあります。分泌される汗が蒸発する際) = 体の表面の熱を奪い、(気化熱)ことで、体が熱くなったりすることを防いでいますのです。



汗をぐいこら

- ・体が冷えないうちは、清潔なタオルやハンカチでしゃがみ、さとりましょう。
- ・水分と血分が1本から失われます。こまめに補給しましょう。特に(=エネルギーをぐいこら) 後は血分補給を忘れず!
- ・「汗ぐいこ」原因は、汗に含まれる脂肪酸などの成分と皮膚の常在菌です。お風呂やシャワーで洗い流し、皮膚の清潔を保ちましょう。

熱中症は危険です！

症状

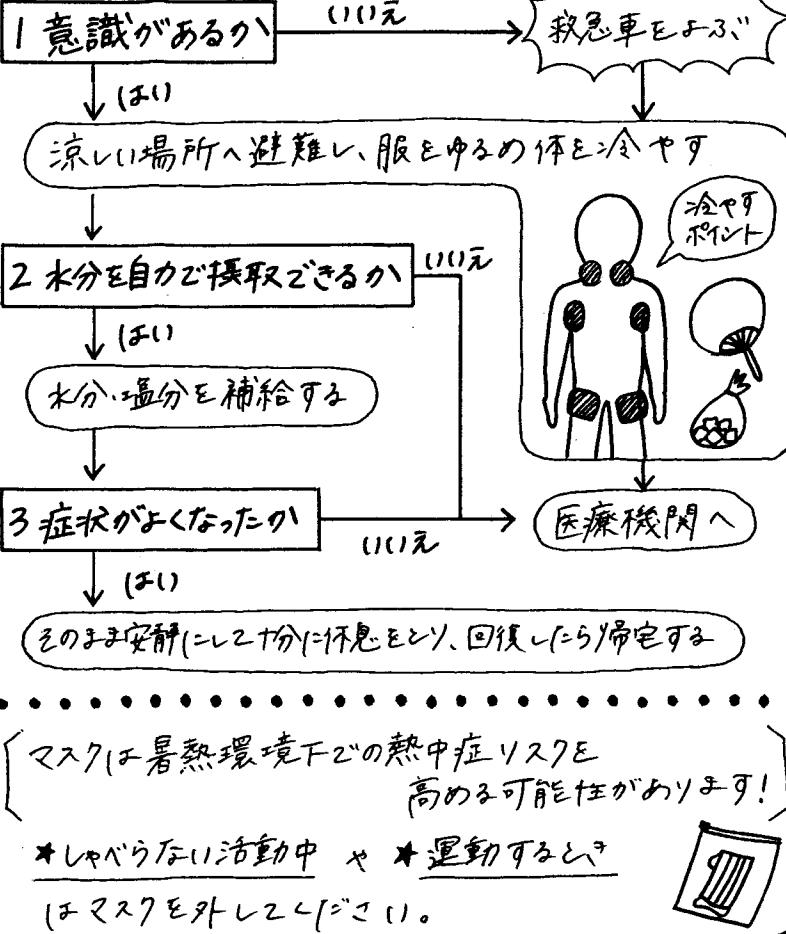
熱中症を疑え！

- I度めまい・失神・筋肉痛
筋肉の硬直・大量の発汗
- II度頭痛・不快感・吐き気・嘔吐
- III度倦怠感・虚脱感・意識障害
けいれん・手足の運動障害
高体温



対応

左のような症状があつたら！

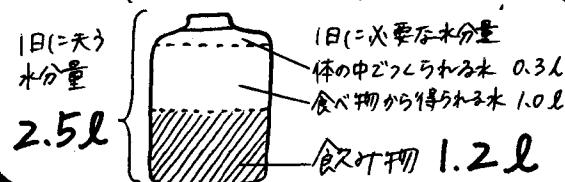


予防

リスクを減らしましょう！

◇睡眠・栄養をしっかり保ち、日頃から体調を整えよう！

◇こまめに水分補給をしよう！



泳いだ後の疲労感と眠気

7月から水泳が始まります。泳いだ後の疲労感や眠気の原因を知り、次の授業に支障のないよう対策しましょう！

考えられる原因

- ・水温…下がる体温を戻すためエネルギーを使ふ
- ・紫外線(日焼け)…活性酸素増→体温ストレス
- ・室内で過ごすことが多く…メラトニンの分泌が活発になる
- ・朝食抜き！



対策

- プールからあがったら、しっかり水分を補給(冷えを防ぐ)
- ホットソングで水分補給
- しっかり朝食を食べる
- プールのあとで体温を動かす(体温を上げる)
- 紫外線対策

これからにつなげる夏休みに

健診診断の結果、異常の疑いが見つかって、「お知らせ」を配布し、早めの受診をお勧めします。すぐには受診して異常がないとわかれれば、不安を抱える時間を減らせます。治療が必要な場合も、早期発見・早期治療で、症状が軽いうちは短期間で治せる可能性があります。健康は確実に将来につながります。この夏休み、ぜひ自身のこれからを見据えて過ごしてください。

*7月1日現在の処置率
総合 49% 専科 57% 歯科 29%